

ごあいさつとお願い

貴医院、診療所、歯科医院など医療現場で日夜住民の生命と健康を守るために献身されていることに、心からの敬意を表します。

さて、2006年の健康保険法の改定など、この間あいついだ医療制度「改革」は、患者のみならずには多額の負担増をおしつける一方、医療機関とりわけ病院などにとっては、医師不足や看護師不足を始め多くの困難をもたらしています。日本共産党は、この2月に「深刻な医療不足を打開し『医療崩壊』から地域をまもる日本共産党の提案」を発表しました。

日本共産党国会議員団は、この提案とともにアンケートを全国9千の病院に送らせていただきました。大きな反響があり、724の病院から回答が寄せられました。

日本共産党の市田忠義書記局長と小池晃政策委員長は、3月19日に国会内で記者会見し、全国の病院に対して行ったアンケート調査結果を発表しました。

同時に、寄せられた声を生かして「安全でゆきとどいた医療を 看護師不足を解決するための緊急提言」を発表しました。これらの詳しい内容は、3月20日付けの「しんぶん赤旗」の関連記事を参考に添付させていただきました。

私ども県北地域に責任を持つ、日本共産党北部地区委員会事務所にも、この間、医療政策などでは、様々な声が寄せられてきております。この機会に、病院を除く、医療施設に、日本共産党の「二つの医療政策」を郵送させていただき、ご感想をうかがい、皆様の声を地域政策などにも生かしてまいりたいと考えております。

本来なら、お伺いし、直接お届けするべきところですが、郵送させていただく失礼をお許し下さい。

寄せられたご感想、ご意見などにつきましては、個々の医院などにご迷惑がかからないように配慮し、日本共産党国会議員団、同埼玉県議団、同関係市町議員団に送付し、政策活動に生かしてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

誠に、お忙しいところ、恐縮ですが、4月5日まで、同封した感想・アンケート用紙をFAXにて、ご返送くださるようお願いいたします。

2007年3月21日

日本共産党埼玉北部地区委員会 委員長 大野辰男

郵便番号369-1202 大里郡寄居町桜沢 3315の2

電話048(581)0311 **FAX048(581)0408**

<http://www.jcp-saitamahokubu.jp/>

eメール: info@jcp-saitamahokubu.jp